

家具の特色

図書館の家具は日本の著名な家具デザイナー藤江和子氏による設計です。そのうち竹の集成材で作られた開架書架と窓際の閲覧デスクは、竹材の原色をメイントーンとして自然の純朴さと人間と大地の共生共存をイメージしたもので、台湾大学実験林教育木材利用実習工場の技術と台湾竹工芸家劉文煌氏のコラボレーションにより製作されました。

清潔感と明るさを増す白を基調としたカウンター、ジャーナル陳列棚、革張りのソファー、灯具等は、建物とリンクしたデザインになっています。

■ 灯具

館内の灯具はシンプルで優雅な形をしています。間接照明を採用した天井の円形ライトは、窓際の閲覧デスクのT字型ランプと調和して、温かみのある空間を作り出しています。

■ 竹集成材の書架と窓際の閲覧デスク

台湾の伝統工芸でよく使われる竹は、成長が早いため入手しやすく環境に優しい自然素材です。炭化処理が行われていないことから、竹本来の色や風合いが保たれています。

■ 竹製の椅子

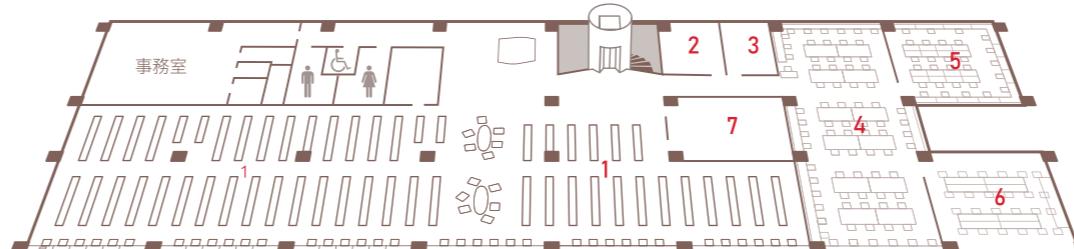
椅子の背もたれは、天井窓の形に合わせてデザインされています。ここにはカバンを掛けることもでき、美しさと実用性を兼ね備えています。

■ 白い革製ソファ

読書の合間のリラックススペースとなっている白いソファの外側は耐摩耗性のある牛革の手縫い、内部はスチールフレームで、丈夫で耐久性があります。厳選された薄手の弾力素材を使ったウレタンフォームはソファのシンプルな形状に馴染んでいます。

Koo Chen-Fu Memorial Library

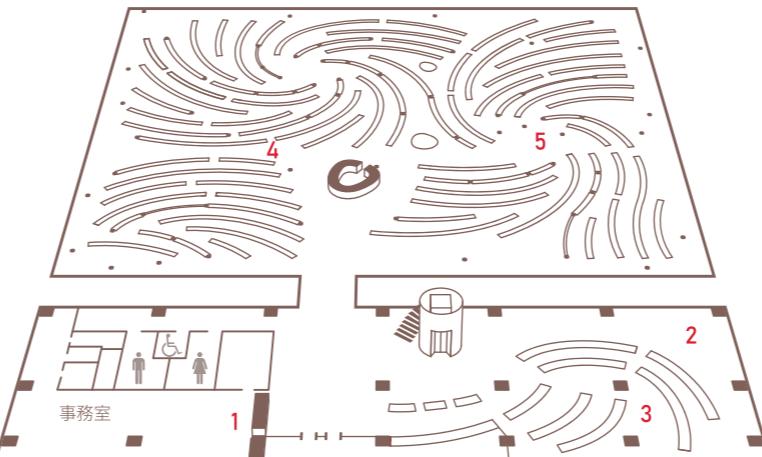
College of Social Sciences, National Taiwan University



2階

1階

開架閲覧室



- 1 サービスカウンター
- 2 検索コーナー
- 3 新着雑誌・新聞コーナー
- 4 洋書
- 5 和漢書

<https://web.lib.ntu.edu.tw/koolib/>



国立台湾大学社会科学院
辜振甫先生
記念図書館



図書館概要

国立台湾大学社会科学院は、旧キャンパスからメインキャンパスへの移転が1998年に決定してから12年の準備期間を経て、2010年3月2日に起工式が行われ、2014年9月に竣工しました。この社会科学院移転・新築プロジェクトは、学校からの補助金に加えて台湾大学の卒業生や民間企業からの寄付により支えられました。なかでも辜振甫名誉博士とその家族から多大な寄付を頂いたことから、感謝の意を表すべく「辜振甫先生記念図書館」と名付けられました。

蔵書の特色

1947年1月に国立台湾大学法学院が「台湾省立法商学院」を引き継いだことを受け、本図書館には日本統治時代の台北高等商業学校と台北帝国大学の法律および経済の分野の文献も所蔵されています。2014年に社会科学院がメインキャンパス内の辛亥路側に新築された学院ビルに移った現在は、23万冊を超える図書に加えて、日本統治時代の蔵書約10万冊、ジャーナル600種類以上が納められています。



サブジェクトライブラリアン (subject librarian)

社会科学院の教師と学生のニーズに応えて図書館サービスの質を高めるために、サブジェクトライブラリアンが図書館と各学科の教師と学生との間のコミュニケーション窓口を務めています。

サブジェクトライブラリアンの主な仕事は、社会科学院の各学科・研究科の教師と学生間の連携、図書館の新しいサービスの伝達、研究と学習に関する情報提供、図書館利用指導、蔵書の充実に向けた支援です。

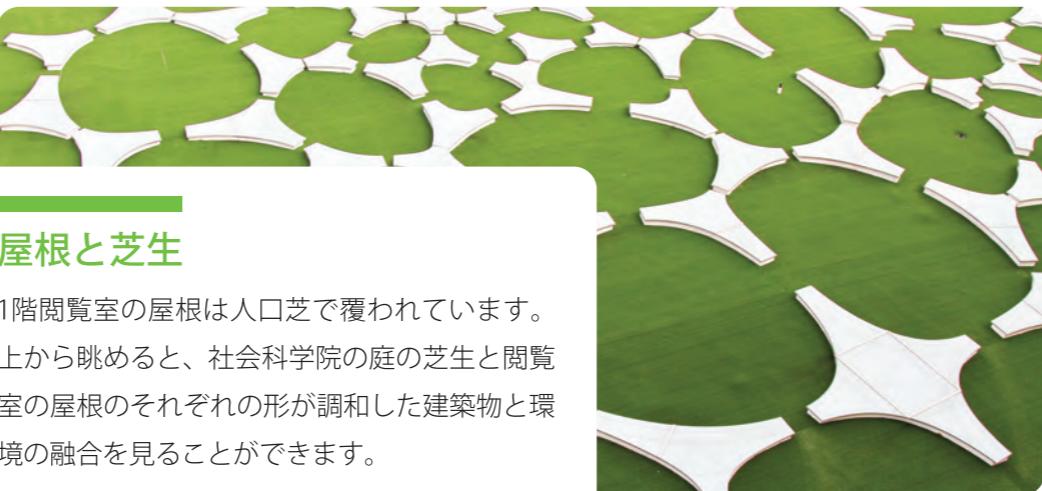
建築と空間

社会科学院ビルは伊東豊雄建築設計事務所による設計で、教室棟と閲覧室の平屋部分で構成されています。図書館は建物中央部分の地下1階から2階に位置しており、延床面積は4,645平方メートルです。そのうち最も意匠が凝らされている1階の開架閲覧室は、約50メートル四方のフロアに高さ約6メートルの吹き抜け、樹木のような88本の柱と不規則な形の130個の天井窓、竹製の書架と家具によって、森の中で読書に浸るような空間が創り出されています。この開放的なスペースには、広い視野を持つ社会学者に育ってほしいという期待も込められています。



樹状柱と天井窓

1階開架閲覧室は88本の樹状柱と130個の不規則な形の天井窓で構成されており、自然光を取り入れた森のような空間となっています。



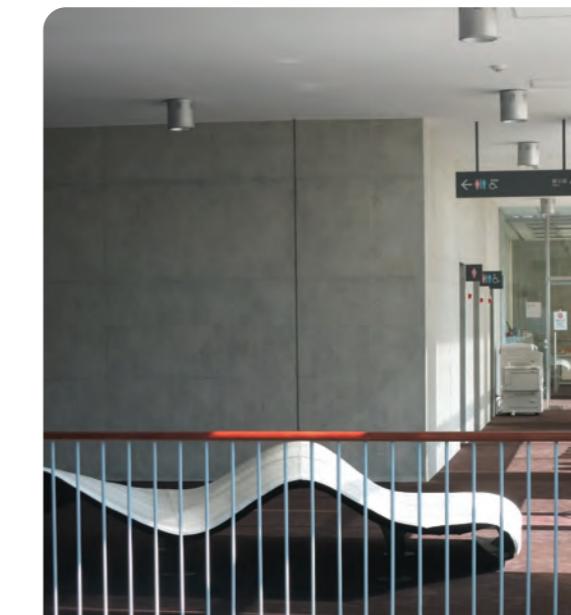
屋根と芝生

1階閲覧室の屋根は人口芝で覆われています。上から眺めると、社会科学院の庭の芝生と閲覧室の屋根のそれぞれの形が調和した建築物と環境の融合を見ることができます。



床輻射空調システム

1階開架閲覧室の地下冷水管は、輻射原理を利用して冷たい空気を閲覧室全体に送り込む仕組みになっており、人と環境に優しく快適な読書環境を提供しています。



打ち放しコンクリート

図書館の教室棟の打ち放しコンクリートの壁と天井は、施工段階での細心の注意によって清潔感・素材感が出されています。